

**問** 学校を選ぶ選択制の導入は

**答** 学校のあり方の中で検討を

岡田 初雄 議員

**問** 地域にあった特殊性、独自性を尊重する教育を考える時、子供達、保護者の皆様が学ばせたい所で、学びたい事を学ぶ事の出来る学校を選ぶ事も教育の資質の向上、学力の向上になると考えます。全国では小学校で14・6%、中学校で20・6%が、実施及び検討中であります。少子化の進む中で子供達の教育、学校運営を考える時、その手法、手段に学校選択制の考えは。

**教育長** 競争原理を教育に導入すると云う事で、学校教育の活性化につながる視点から、導入されたこと認識している。通学区の変更は、教育委員会が決定する事になっているが、選択制については児童、生徒、保護者、教師等、身近で切実な問題だけに、当事者の正しい理解と認識が必要である。現時点では時期尚早と思うが、基本的な事は充分検討する必要がある。

**市長**

小規模校、地域性の問題、子供の想い、保護者の想い、学校のあり方を考える点からは、選択制の考え方もあると云う事の検討もする。



**問** 建設計画と18年度予算の整合性

**答** 整合性はとれていると判断

春名 哲夫 議員

**問** 今年の6月提案予定の宥栗市建設計画には、どんな団体、委員会、協議会等で、どの程度市民参画と言えるのか。

**市長** 職員プロジェクトで素案をつくり、それを基に1つが8名の住民部会に於いて検討をお願いしている。それぞれ6つの住民部会とも全体的な見地から活発な提案等を出され、夜おそくまで議論いただいている。後に策定委員会にかけ、更には20名による総合計画審議会で答申をいただき、市議会に提案したい。

**市長**

職員プロジェクトで素案をつくり、それを基に1つが8名の住民部会に於いて検討をお願いしている。それぞれ6つの住民部会とも全体的な見地から活発な提案等を出され、夜おそくまで議論いただいている。後に策定委員会にかけ、更には20名による総合計画審議会で答申をいただき、市議会に提案したい。

**市長**

行財政改革初年度と位置付けし、総合計画に盛り込まなければならぬ思いで、変更のないであろうと考えられるものにつきましては18年度予算に繰り入れてきたので整合性はとれていると判断している。

**問**

協議会、審議会に支払う報酬のあり方についての認識を伺いたい。

**市長**

謝礼として報酬金等がある。本末も計上されている。

**問** 社会保障市独自の上乘せ施策を

**答** 国の状況を見ながら対応します

山下 由美 議員

**問** 乳幼児医療費の無料化を

「姫路市に住む友人は2歳まで無料なので無料にしてほしい」という声があります。無料制度を充実するべきでは。

**福祉部長**

現状では困難です。

**問**

障害者の負担増、独自軽減を

法が実施されれば福祉サービスを使えば1割の利用料があるといえ、90%以上の人が無料であったことを考えると生活の圧迫や社会参加の制限は避けられない。市独自で軽減策をつくるべきでは。

**福祉部長**

国の施策に合わせます。

**問**

旧山崎町で35・5%旧千種町で44・8%の値上げは生活を圧迫する。保険料は年金から天引きされても、サービス利用時にお金が増加する。そのため一般会計を繰り入れて保険料を下げる自治体もある。繰り入れにより保険料を下げるべきでは。

**福祉部長**

基本ルールに従って繰り入れはしません。

**問**

情報公開のため図書館に議案書や例規集の設置を。

**教育長**

議案書は閲覧できるようにします。例規集は4月より、市のホームページに掲載します。